

【テーマ設定型寄附】

—全14事業—

寄附者様がテーマを設定した趣旨

株式会社伊藤園 様 テーマ：奈良県内の自然・環境・文化財の保全・活用事業

奈良県は、世界に誇る多くの歴史文化遺産と、それらと一体をなす歴史的風土豊かな自然環境に恵まれた地であり、その美しい景観を守り育てていかなければなりません。伊藤園では、そのために県民・事業者・行政の適切な役割分担と協働を行い、地域を活性化し、豊かな生活を引き継いでいく為に支援キャンペーンを行います。奈良県で本キャンペーンについて広く周知し、奈良県内の自然・環境・文化財の保全や活用、およびこの事業に伴う地域活性化への貢献についての認知・理解促進に取り組み、支援への賛同を募ります。



▲R3年7月 寄附受領式

大和信用金庫 様 テーマ：大和川水系の水環境改善活動

奈良県民の憩いの場であるべき大和川は、全国1級河川ランキングワーストを脱却し、水質の改善が進んでいます。大和信用金庫は、地域社会とともに歩む地域の金融機関として、大和川のBOD（生物化学的酸素要求量）値の改善度合いに応じて金利を上乗せする「大和川定期預金」の取扱いなど、水質改善に向けた幅広い活動を行っています。

今回、大和川水系の水環境改善に取り組む団体の活動を支援することで、さらなる環境改善に役立てていただきたいと考えています。



▲R3年3月 寄附受領式

イオングループ 様 テーマ：奈良の文化遺産やまちなみの保全事業 (イオンリテール株式会社様、株式会社山陽マルナカ様、株式会社ダイエー様)

私たちイオングループは、「お客様を原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」という基本理念のもと、様々な環境・社会貢献活動に取り組んでいます。奈良県には、文化遺産をはじめ、近世の面影を残す歴史的なまちなみを有する地区も数多く存在します。

今回、「古都ならWAON」カードの利用金額の一部を寄附し、奈良の文化遺産やまちなみの保全活動、及びそれらを活用した地域の活性化活動を支援することで、「古都なら」の保全・活性化に役立てていただきたいと思ひます。



▲R3年7月 寄附受領式

奈良県青少年育成ボランティア協会 様 テーマ：地域の子ども・若者の健全育成事業

地域のグループや団体等による、子どもや若者を対象とした活動や子どもと大人が一緒になって取り組む活動、あるいは青少年による地域貢献活動などで、地域で子どもを育てる力の向上や青少年の健全育成に繋がる取り組みに役立てていただきたいと思ひます。

※寄附受領日は平成29年4月19日。解散に伴う寄附。

外部人材を活用した里地里山の景観と生物多様性保全事業

補助金額 250,000円

補助事業の背景と目的

畦や堤の草刈りなど都祁吐山地域内の田畑の維持管理は、地域住民の高齢化により担い手不足が深刻化しています。地域住民の負担を軽減するために、県内外の学生を中心とした地域外の若者に畦畔管理作業のお手伝いをしてもらうとともに、地域の景観維持と耕作放棄地の拡大防止、また生物多様性の保全を目的として実施しました。

補助事業の実施内容

実施内容は①草刈りのお手伝いを3回②「地元学」勉強会を3回③講師をお呼びしてのトークイベントを2回、開催しました。

都祁吐山地域の畦、堤の草刈りを若者と共に行うとともに、地域住民との共同作業を通じて、地域文化や水田の水管理の歴史を学び、記録しました。また、景観の向上と減肥・減農薬農業の実践のため、稲刈り後の田にレンゲソウの種を蒔き緑肥としての効果を検証しました。トークイベントでは、環境教育の専門家と元地域おこし協力隊の方をお招きし、参加者と意見交換を行いました。



▲ 地元の方と共に農地の草刈りを実施

補助事業の成果と今後の活動に向けて

草刈りなど高齢者にとって営農の負担となる作業を手伝うことで、高齢者の負担を軽減することができました。その際、地域の方との交流を深めることができ、交流会では地域住民への聞き取り調査を実施し、地域の歴史や文化について記録することができました。トークイベントでは、講師の経験を聴くことで、今後どのように地域活性化に向き合えばよいか指針を得ることができました。

本事業を通して得た学びを、「地域農業支援プログラム」をはじめ、地域支援の拡大につなげていきたいと考えています。




▲ 草刈り後の畑にレンゲソウの種をまく

寄附者からの声

寄附者：株式会社伊藤園

弊社の寄附の趣旨に賛同していただき、今後も奈良県の景観を守っていただけるよう期待いたします。

団体名	のまはら	【団体の設立経緯・目的】
所在地	奈良県奈良市恋の窪1-2-2 ならコープ本部内のまはら事務局	東日本大震災の被災当事者団体として2012年に設立。2017年より都祁地域を拠点に地域支援に事業を拡大。
活動の様子 (若者から社会人まで多世代で活動中)		【団体の主な活動の内容】
		地域の遊休農地を管理し、収穫したお米、野菜を子ども食堂等支援団体に届ける「地域農業支援プログラム」の実施。

ヘイケボタルとゲンジボタルが棲む環境の維持と景観保全
 <多様な生物の棲める小川、湿地ビオトープ、池、田んぼ等の水辺の保全>

補助金額 300,000円

補助事業の背景と目的

2015年、環境省は生物多様性保全上の重要里地里山として全国500カ所を選定しました。その一つに大和川本流源流に位置する三谷「山野草の里」が選ばれ、保全活動の主体として本会の活動が評価されました。

生物多様性は地域における取り組みが必要不可欠で、大切なテーマです。「山野草の里」には奈良県レッドリストに掲載された希少動植物が多く棲んでいます。そのため、里山のシンボルと言われるホタルを対象にして水辺の保全活動に取り組むことにしました。

補助事業の実施内容

里山の生き物を守るには生態系の保全が大切です。里山のシンボルであるホタルの生育環境の保全のため、

- ① 棚田の上方に冬場の水辺確保
- ② ゲンジボタルの棲む小川、水路の掃除
- ③ ヘイケボタルの棲む水田では農薬を使用せず、古代米を中干しせずに栽培
- ④ 田の畔は草刈り禁止期間を決めて全員で徹底等々に取り組みました。

また、親子参加の「みんなでいかそうビオトープ」の活動により、生き物や自然に触れ、保全活動の大切さの啓発活動も実施しました。



▲ 古代米の脱穀作業

補助事業の成果と今後の活動に向けて

本事業により、日常の保全活動が変化してきました。冬の間は棚田の上方の田に水を貯めて水辺を確保し、小川の掃除にも力を入れるようになりました。また、ホタルが水の中から出てくる時期から産卵までは周囲の草刈りを一斉にストップさせました。2022年夏には棚田の下方エリアにおいても飛翔するホタルが増加し、来訪者が歓声をあげ喜んでいます。

三谷集落には13軒ありますが、既に高齢化で米作りをやめる農家が目立っています。20年余り保全活動を担ってきたボランティアの高齢化が進み、スタッフの世代交代を急ぐ必要があります。活動資金の確保も大変ですが、その前に里山保全を担う新たなボランティアの確保に取り組み、「山野草の里」の保全活動を継続していきたいと考えています。



▶ ビオトープ
集合写真

寄附者からの声

寄附者： 大和信用金庫

弊庫寄付金をほたるの生育環境の保全や保全活動の大切さを啓発する活動に活用頂き有難うございます。今後も大和川源流に位置する三谷「山野草の里」の自然環境を守っていかれる活動に期待しております。

団体名

特定非営利活動法人
山野草の里づくりの会

所在地

桜井市大字三谷528番地

活動の様子
(チェーンソー
の実習)



【団体の設立経緯・目的】

里山の景観と自然環境の保護を目的に2001年4月「山野草の里づくりの会」を結成し活動を始めました。

【団体の主な活動の内容】

遊休農地の復旧、山林の整備等、里山の景観と自然環境の保全活動とともに啓発活動にも努めています。

春日山、滝坂の道、能登川の高畑流域の自然環境、景観保全事業

補助金額 165,769円

補助事業の背景と目的

能登川は、「能登川の水底さへに照るまでに御笠の山はさきにけるかも」と万葉集にも詠われています。春日山原生林の生き物、植物、花の観察と記録、能登川のホタル成育環境の記録の改定版を冊子として発行、地域の学校、社会福祉協議会の皆様に配布して自然環境保全の啓蒙をはかります。

補助事業の実施内容

飛鳥地区社会福祉協議会の皆様と能登川紀寺流域を協働で清掃しました。燃えるゴミ(草など)15袋、ペットボトル1袋、空き缶1袋、ビン1袋、ビニールゴミ3袋、アシ束25束などがあり、奈良市アダプトプログラムを活用し、回収しました。また、落ち葉ゴミは近隣中学校の農園のたい肥づくりに活用してもらいました。

その他、能登川のホタル環境保全の水質改善のためにカキ殻設置試験を行ったり、さとやまもっこ工房ワークショップでクリスマスオーナメントの制作をしたり、ホタル環境保全のための「ホタルの能



▲ 能登川紀寺流域を飛鳥地域社協と協働清掃

登川改訂版」を地域に配布したりしました。

補助事業の成果と今後の活動に向けて

能登川紀寺流域の清掃では、毎年徐々にきれいになってきており、ゴミ捨てが減っているようです。また、カキ殻の設置では、有機物の値(COD)が能登川上流から紀寺流域まで、4-5と改善されてきています。さらに里山杉林整備で景観形成と間伐材のさとやまもっこ工房での作品加工に展開します。

今後は今までの事業を展開し、ホタル飛翔と奈良市の最大雨量の相関を確認していきたいと思っています。



▶ 設置するカキ殻

寄附者からの声

寄附者：大和信用金庫

弊庫寄付金を能登川のほたる生育環境保全のためのカキ殻設置試験や自然環境保全の啓蒙活動に活用頂き有難うございます。今後も能登川の水質保全に取り組まれる活動や自然環境を次世代に啓蒙していただける活動に期待しております。

団体名

高畑自然教室

所在地

奈良市高畑町1349

活動の様子
(高畑自然教室のポスター)



【団体の設立経緯・目的】

春日山原生林から高畑へと流れる能登川にはホタルがいます。この自然環境を保全、未来に引き継ぎます。

【団体の主な活動の内容】

ホタル：能登川水質 里山：間伐景観形成
花散歩：春日山動植物観察
親子体験：田植え 地域協力：行事協力

山の辺の道「奈良道」来訪者誘致促進事業

補助金額 400,000円

補助事業の背景と目的

我が国最古の道と称せられている山の辺の道の環境を整備し、啓発活動を行うことにより、桜井・天理間を占めているハイカーが奈良まで来訪してもらえるように増加促進を図り、また沿道の文化遺産に対する理解と愛着を深めてもらうことを目的としました。

補助事業の実施内容

沿道の環境整備として、草刈りや枝払い、道普請を行いました。

令和3年11月12日に弘仁寺の高井住職を講師に招き、「十三詣りでの法話 ある霊的な体験」を演題に、講演会を実施しました（聴講者：66人）。

歩こう会を2コースに分けて実施しました。

北コースは令和3年11月25日、薬師寺から白毫寺・崇道天皇陵・圓照寺を經由し、帯解寺まで約8キロメートルを歩きました（参加者：38人）。

南コースは令和3年11月30日、帯解寺から弘



▲ 沿道草刈り（鹿野園地内）

仁寺・正歴寺を經由し、圓照寺まで約11キロメートルを歩きました（参加者：30人）。

補助事業の成果と今後の活動に向けて

沿道の環境を整備するとともに「まほろば古道」の良さを啓発することにより、来訪者も増加しつつあります。

歩こう会の参加者は当会以外の人も多く参加いただき、別名「祈りの道」とも称せられている「まほろば古道」の琴線に触れていただきました。終了時には「友人と改めて訪れるわ。」と言っている人もいました。

これからも来訪者増加のために、会員一同で頑張っていきたいと思っております。



▶ 歩こう会
（藤原地内）

寄附者からの声

寄附者： イオングループ

「山の辺の道」沿道の環境整備と共に「講演会や歩こう会」の地道な活動が、来訪者の増加に結びついている等、素晴らしい事業と存じます。今後もご継続されます様、お願いします。

団体名	山の辺の道「奈良道」を守る会	【団体の設立経緯・目的】
所在地	奈良市藤原町584	まほろば古道山の辺の道を整備し、来訪者の増加促進を図り、また本県の観光振興に寄与するため設立しました。
活動の様子 (山の辺の道 (飛鳥地区))		【団体の主な活動の内容】
		観光ボランティアガイド、奈良に関する講演、県内文化財の調査、新聞記事の執筆、書籍の刊行など。

平城京北部地域(佐紀町地区)の里山景観の美化・整備・保全事業

補助金額 373,520円

補助事業の背景と目的

佐紀町地区は、歴史的文化遺産の佐紀盾列古墳群の近接里山地域であり、京奈和自転車道やウォーキング道として利用されています。しかし道路幅員も狭く、路肩雑草や倒竹・ゴミ捨て・側溝閉塞等で景観や利用者の安全が損なわれつつあります。そのため、道路や遊歩道の美化・整備・保全（清掃・除草・啓発活動・竹林整備・植栽等）を行うことで、住民や利用者にとって有益であり、里山環境保全や安全を確保することを目的としました。

補助事業の実施内容

- ①地域や沿道の清掃・草刈・間伐活動
⇒・全10回の活動(参加人数計130名)
- ②景観保全・美化の啓発看板設置・花いっぱい運動と植樹活動
⇒・啓発看板5枚(5種類)設置(参加人数計23名)
・花壇整備活動9回(参加人数計31名)
・花植えイベント(参加人数25名)
・レンゲ草種子散布実施
・9本の植樹実施(桜・梅等)(参加人数13名)
- ③竹林整備活動
⇒・荒廃竹林防止で里山景観維持と安全確保
全5回の活動(参加人数計64名)



◀ 啓発看板の設置

補助事業の成果と今後の活動に向けて

清掃・草刈・竹林整備活動を通じて住民や地域利用者との交流が図れました。地域の里山景観維持と道路通行安全が確保できただけでなく、看板の設置や花いっぱい運動・植樹等で京奈和自転車道やウォーキング道の利用者や住民への啓発や意識底上げに貢献できました。

当法人の資金だけでは、今回と同程度の活動継続は困難と考えます。助成金活用や外販拡充等資金確保をしつつ、地域利用者とのさらなる交流促進のため、HP活用で運動や花植募集案内等で活動の輪を広げていきます。




▲ 花いっぱい運動の実施

寄附者からの声

寄附者： イオングループ

里山の環境保全に向けての様々な取り組みに「古都ならWAON」寄付金を活用頂きありがとうございます。里山は手入れを怠れば直ぐ荒廃します。今後もご継続されます様、お願いします。

団体名	特定非営利活動法人 共生学舎	【団体の設立経緯・目的】
所在地	奈良市佐紀町1360	地域里山の環境整備と保全を推進する。 農作業を通じて子ども達の食育を推進する。
活動の様子 (地区の生活環境改善活動)		【団体の主な活動の内容】
		平城山地区の生活環境美化活動(24回/年) 竹林の整備活動(9回/年) 畑/田んぼの耕作維持活動

山の辺の道花・花事業

補助金額 215,963円

補助事業の背景と目的

大和古道は人気の観光スポットですが、実際には「見せ場」が少なく、道沿いには耕作放棄地など手入れの必要な箇所が多くあります。そこで、以前にもこの地域で菜の花を咲かせた経験を活かし、菜の花いっぱいの山の辺の道景観スポットとして紹介することと、伝統行事の子どもたちへの継承を目的とします。

補助事業の実施内容

休耕地での菜の花栽培の前に、雑草の繁殖がひどかったため、草刈りとトラクター耕作を3回繰り返しました。令和3年10月に体験イベントとして種まきを実施しました。放課後デイサービスの7名の子どもと保護者の方が飛び入りで参加してくれました。種まき後は管理機を使用しながら、草刈りと水抜き、施肥をして、菜の花が咲くように整備をしました。



▲ 圃場の草刈り作業

補助事業の成果と今後の活動に向けて

令和4年4月には道沿いに菜の花が咲きました。ただし、冬場に雨が多く水抜きがうまくできなかったため、

成長が悪く菜の花いっぱいの「花・花ロード」と言えるほどではありませんでした。種の収穫も僅かで、今後の圃場管理の再考が課題です。また、コロナ禍で子どもたちの参加を積極的に勧めることができなかつたので、今後は子どもたちも参加できるような内容も考えていきたいです。


今後、道沿いの菜の花は同様の活動をしていきますが、農の再生をレクチャーしていく必要性を強く感じました。また、高齢化していくボランティア頼みの活動には限りがあるため、近隣農家や新規就農者の方々にも協力を募り、荒廃した棚田の再生など農による経済効果を生み出す観光スポットとしての山の辺の道の「見せ場」を作っていきたいと考えています。

▶ 山の辺の道の
菜の花

寄附者からの声

寄附者：イオングループ

花事業への取り組みに際し、草刈、耕作、種まきから育てるまで本当に大変であったと思います。今後も山の辺の道が、菜の花で黄色く染まる景色を楽しみにさせていただきます。

団体名	特定非営利活動法人 さくらい菜の花プロジェクト	【団体の設立経緯・目的】
所在地	桜井市生田243番地	耕作放棄地を活用し、菜の花栽培を通して環境の保全と地域の活性化、子どもの健全育成に寄与すること。
活動の様子 (ESD学習(菜種油の奉納))		【団体の主な活動の内容】
		菜の花栽培による資源の循環システムの啓発、環境学習や食育の出前講座、農業体験の場の提供、ナタネ油の寺社への奉納。

春日山原始林アートプロジェクトの活動を広く伝える
記録冊子制作事業

補助金額 400,000円

補助事業の背景と目的

「春日山原始林」は春日大社の神域として、千年以上の間守られてきた森です。しかし、現在原始林は様々な課題により、その状態を維持していくことが難しくなっています。

そこで、アートを通した春日山原始林保全活動を紹介する冊子を作成することで、奈良県民はもとより世界の方々に「春日山原始林」の存在を知ってもらうことと、保全活動に関心を寄せ、参加する方々の創出を目的としています。

補助事業の実施内容

「春日山原始林アートプロジェクト」は、アートを通して春日山原始林をとり巻く歴史や背景を啓発することを目的に、アーティストたちが様々な作品で大杉の物語を表現しているプロジェクトです。当事業をより広く周知し、アートを通した保全活動の輪を世界に拡大していくために、プロジェクトの内容を分かりやすくまとめたバイリンガル記録冊子を作成し、奈良県を中心に全国に配布、同時にオンラインで世界に発信しました。



▲ パンフレット用に現地で作品の撮影

補助事業の成果と今後の活動に向けて

春日山原始林アートプロジェクトの活動を魅力的に紹介する冊子を3,000冊制作しました。過去の寄附者や全国のアート施設、奈良県の公共施設等へ配布し、春日山原始林の現状周知に繋がりました。同時にホームページを冊子デザインを元にリニューアルし、英語での説明を追加しました。バイリンガルでも制作することで、世界へも「古都なら」の文化遺産である春日山原始林の存在を積極的に発信することができました。



▲ パンフレット用写真を滝坂の道で撮影

寄附者からの声

寄附者： イオングループ

古都ならの景観に重要な役割を果たす春日山原始林。この素晴らしい原始林を次世代に引き継ぐ活動に弊社の寄付金を活用頂きありがとうございます。今後もご継続されます様、お願いします。

団体名 春日山原始林を未来へつなぐ会

所在地 奈良市あやめ池北3-12-27

活動の様子
(春日山原始林でのガイドや観察会の実施)



【団体の設立経緯・目的】

特別天然記念物「春日山原始林」の自然環境と文化的価値を次世代へつなぐことを目的に設立

【団体の主な活動の内容】

春日山原始林内での保全活動、一般市民、児童等への啓発活動・環境教育の実施

稲作を通しての自然体験・食育推進事業

補助金額 100,000円

補助事業の背景と目的

近年、子ども達が自然と接する機会が少なく、食物を育てる機会も少なくなってきました。今朝食べたものがどのように作られているのか教科書でしか教わりません。そこで子ども達が実地で自然環境に触れながら稲刈りを行い農作業の楽しさを体験できるイベントを開催しました。

補助事業の実施内容

およそ2ヘクタールの水田の一部をイベント会場として稲刈りを行いました。初めて触れる稲穂がお米になると知った子、自分が鎌で刈り取った稲を誇らしげに見る子、夢中になって刈取りする子、コンバインでの稲刈りの迫力に目を見張った子などがおり、子ども達にとって貴重な体験ができたと思います。

後日、収穫祭として収穫したお米で餅つき大会を開催し、食物を育てることへの関心をさらに深めてもらいました。



▲ 稲刈体験イベント開催

補助事業の成果と今後の活動に向けて

本事業の稲刈りは稲作経験として大好評をいただきましたが、稲作を通年で考えると田植えも体験すべきと考えます。参加者の方々からも要望があったため、実施できるように考えていきたいです。

今後は更に地域の環境整備を行いながら自然体験できるイベント(タケノコ掘り・いも掘り・七草摘み等)を開催企画します。




▲ 餅つき大会開催

ひとつこと

青少年・社会活動推進課

子ども達にとって普段から食べていてなじみ深いお米の収穫を体験することは、自然と触れ合う機会の提供、食育の推進がなされた事業であったかと存じます。今後も地域での自然体験活動を行われていくことを期待します。

団体名	特定非営利活動法人 共生学舎	【団体の設立経緯・目的】
所在地	奈良市佐紀町1360	*地域里山の環境整備と保全を推進する。 *農作業を通じて子ども達の食育を推進する。
活動の様子 (遊歩道環境整備活動)		【団体の主な活動の内容】
		*平城山地区の生活環境美化活動(24回/年) *竹林の整備活動(9回/年) *畑/田んぼの耕作維持活動

小学校低学年の児童の運動機会の提供事業

補助金額 100,000円

補助事業の背景と目的

新型コロナウイルスの蔓延で、活動が制限され低下した体力や運動が苦手な子、家庭の事情で運動の機会を得られない子たちへ、安全な場所で運動の機会提供を行い、体力の向上や運動の楽しさを得てもらうことを目的としました。

補助事業の実施内容

令和3年10月～12月に生駒市の2つの小学校で、令和3年11月～令和4年1月に1つの幼稚園で、週1回決められた曜日に1時間程度のプログラムを各小学校や幼稚園の施設で開催しました。

体育館や遊戯室において指導者及びボランティアスタッフ指導の下、子どもたちが自分で会場へ来て、跳び箱や鉄棒、マット運動、ミニハードル・ラダー、平均台、ボール投げなどを組み合わせ、室内でサーキット運動を楽しみました。



▲ スポーツの様子1

補助事業の成果と今後の活動に向けて

各小学校、幼稚園で毎回20名～30名程度の参加がありました。本事業の様子を見た保護者や幼稚園より活動継続の希望が寄せられました。

また、廃園対象となっている幼稚園のPRポイントとしても利用したいとの希望があり、令和4年度では、2つの幼稚園で実施中です。



▶ スポーツの様子2

ひとこと

青少年・社会活動推進課

子ども達の運動の機会が減少しているなか、自由に体を動かし楽しく運動できる場所の提供がなされた事業であったかと存じます。今後も幼稚園・小学校と連携し子ども達への運動の機会の提供が行われていくことを期待しています。

団体名

一般社団法人
リトルパイン総合型地域スポーツクラブ

所在地

生駒市緑が丘1454-34

活動の様子
(リトルパイン集合写真)



【団体の設立経緯・目的】

「楽しさ・つながり・健康な身体」、をもたらすスポーツの機会を地域の方に提供できるよう設立しました。

【団体の主な活動の内容】

子どもからシニアまで、世代に応じて楽しめるスポーツの定期的な教室やイベントの開催をしています。

おやこでチャレンジ事業
「体験を通して子どもの可能性をひろげる」

補助金額 100,000円

補助事業の背景と目的

ガールスカウトでは、少女一人ひとりの持つ無限の可能性を引き出すためにLearning by doing(体験による学び)を重視しています。

今回はものの仕組みや成り立ちを科学的な側面から理解し、なぜだろう?の興味を持つことで将来への可能性を広げ、前向きに取り組む姿勢を育てることで、その力を自分の将来や地域社会に役立つことにつなげることを目的として実施しました。

補助事業の実施内容

・水の不思議「見学・参加型実験ショーとワークショップ」

実験ショーでは水の性質や水の形を知り、ワークショップではアクアラボを作製し、水が渦を巻く仕組みについて考え、体験しました。

・科学的視点に立った自然観察

虫や木や花、すべてが生き物であることを知り、またそのそれぞれの形や色、硬さや厚みが違うこと、生き物にとってこの違いが大切であることへの気づきを子どもたちに導き、様々な視点で観察することを体験しました。



▲ 水の不思議体験

補助事業の成果と今後の活動に向けて

おやこでの参加型で開催したため、保護者からは「普段体験することが少ない科学からの視点での活動に子どもは興味をそそられていた」「子どもが目をキラキラさせて生き生きと活動し、親子で楽しむことが出来た」「子どもの興味を発見できた」等の感想が寄せられ、実施目的である将来への可能性を広げ、前向きに取り組む姿勢を育てることは達成できたと考えています。

先につなげるために、内容や実施方法を検討しながら、今後も継続した活動とする予定です。



▲ 自然観察体験

ひとつこと

青少年・社会活動推進課

子ども達が身近に起こる現象・存在するモノに対して科学的な考え方を実験や体験を通じて学ぶことができた事業であったかと存じます。今後も子ども達の将来の可能性を広げる体験活動が行われていくことを期待します。

団体名

一般社団法人
ガールスカウト奈良県連盟

所在地

橿原市城殿町459番地

活動の様子 (おやこで チャレンジ集 合写真)



【団体の設立経緯・目的】

「すべての少女と女性が自分らしく生きられる社会」を目指して行動する女性を育てることを目的とする

【団体の主な活動の内容】

体験による学びを重視し、異なる年代・価値観の人との関わりの場を提供し、少女の力を育む活動をしている

いこま山であそぼう！
子どもがつくる楽しいお店がいっぱい「わいわい祭り」

補助金額 100,000円

補助事業の背景と目的

企画を考え、運営まで行うためには、自分の考えをきちんと伝え、違う意見の人の話もきちんと聞き、みんなで話し合いによって決めていかななくてはなりません。ただそれを「やらされる」のではなく「楽しいからする」に繋がられるよう、みんなで協力して自然の中で祭りを作ることにしました。

また、運営している子ども達だけでなく、祭りを楽しみに遊びに来た子ども達にとっても大きな心の解放となるであろうと考えました。

補助事業の実施内容

生駒山の自然の中で小学生達が3ヶ月かけて話し合いを重ね、試行錯誤しながら自分達で企画から運営までをする祭りを開催しました。当日には輪投げ、ボーリング、射的、どんぐりおとし、くじ引き、宝探し、おばけやしき、リース作り、ポーズストップ、がけのぼり、プラ板作りなど20のお店が連なりました。

多くの子ども達に会場してもらうため、1つのゲームの参加費をできるだけ低く設定したり、チケット制にして現金の取り扱いを受付のみで行ったり、景品をリサイクルでまかなえるように文具やおもちゃの寄付をしてもらうよう呼びかけたりして、工夫をしながら行いました。



◀ わいわい祭り1

補助事業の成果と今後の活動に向けて

祭りを行った子どもたちはもちろん、来場者達も笑顔で心から祭りを楽しんでくれていました。コロナ禍においての精神安定の効果は大きかったと思います。

最初は自分達で祭りをするイメージが湧いていないようでしたが、話し合いを重ねていく事によって、前日の準備で看板作りや仕掛け作りを自ら考えたり、駅前でのチラシ配りや片付けを楽しみながら行ったりするようになっていました。祭りを作る事を通して、楽しみながら自ら意見を出し、考え、行動できる事を知ってくれました。

また、多くの方が呼びかけに応じて下さり、沢山の景品が集まりました。子ども達の中で「しょうもない物違うん？」という意見も出ましたが、自分にとって不要なものでも、捨てずに欲しい人のところに回って行く事を実感として体験する事ができたと思います。


▶ わいわい祭り2



ひとこと

青少年・社会活動推進課

子ども達が中心となり、自ら考え、他人と意見を調整し、実践するという社会に出てから大事なことを子どものうちから経験できた事業であったかと存じます。今後も子ども達が中心となった活動が展開されていくことを期待しています。

団体名	特定非営利活動法人 いこま山の子会	【団体の設立経緯・目的】
所在地	生駒市山崎新町1-40	子どもや青少年及び保護者や関係者、すべての人が自分らしく生きられる社会づくりに寄与すること
活動の様子 (いこま山の子会)		【団体の主な活動の内容】
		・ようちえん事業・子育て支援事業・青少年育成事業・自由教育普及事業・自然環境保全事業

「はじめての親子テニピン教室」

補助金額 100,000円

補助事業の背景と目的

全国的な課題でもある子どもたちの「運動能力や体力アップ」に向けて投げる力や道具を使った運動力などを養う取り組みを身近な地域で開催しています。今回は、ネット型ボール運動「テニピン」を通じて、子どもたちの「思考力・判断力・表現力」の育成を目的としました。

補助事業の実施内容

簡単で安全に、誰もがすぐにラリーを続けることができる、手のひらにはめたラケットと低いネットのコートを使い、スポンジボールを打ち合う「テニピン」教室を開催しました。

- ・開催期間：2021年10月～2022年2月
- ・開催日数：13日
- ・参加組数：6組（延べ32名）
- ・開催会場：平群町総合スポーツセンター



▲ はじめてのテニピン1

補助事業の成果と今後の活動に向けて

参加者は全員テニピン未経験者でしたが、30分ほどで親子で軽くラリーができるようになっていました。ゲームのなかで自分で作戦を立てるなど、工夫している様子も見られました。

小学校学習指導要領にも採用されているテニピンを親子で体験できる機会を設けたことで、今後の学校体育やテニス競技への関心を子どもだけでなく、保護者にも持ってもらう機会づくりの場となりました。令和4年度以降は子ども園での体育指導への活動メニューにも取り入れていく計画をしています。




▲ はじめてのテニピン2

ひとこと

青少年・社会活動推進課

子どもたちがスポーツを通じて、体を動かしつつ、上達のために考え、工夫する力を育むことができた事業であったかと存じます。今後もスポーツを通じて子どもたちの運動能力や思考力、判断力、表現力が育成される事業が展開されていくことを期待しています。

団体名	一般社団法人 くまがしクラブ	【団体の設立経緯・目的】
所在地	奈良県生駒郡平群町福貴72 平群町総合スポーツセンター	地域住民が日常生活の中で自発的にスポーツや文化を楽しむ「Sports in life」の実現。
活動の様子 (平群町キッズAfterスクール)		【団体の主な活動の内容】
		①町づくりの推進 ②スポーツ・文化等の振興 ③子どもの健全育成 ④高齢者・障がい者の福祉・健康増進など。

地域の人と人のつながりプロジェクト・園芸サロンの活動

補助金額 142,645円

補助事業の背景と目的

コロナ禍の影響もあり、人と接する機会が少なくなり、引きこもりや会話がなくなったことで軽度の認知症から進行した、足腰の機能低下など健康面に影響する事象が高齢者に見られています。地域の高齢化率の上昇は、災害発生時の避難行動支援者が増えると考えられることから、地域でのヨコ・タテ双方向のつながりが必要です。また、地域のつながりの低下は、地域防災の組織力低下にもつながっていきます。

そこで、障がい者や高齢者、児童など世代を問わずに集い、お互いを知るきっかけづくりとなる、園芸サロンを始めました。

補助事業の実施内容

園芸サロンでは、定期的に畑に集まり、畑の手入れをしながら、野菜（サツマイモ、タマネギ、水菜、エンドウ豆など）やケナフなどを育てました。サツマイモは自分たちで収穫、試食会を実施し、ケナフは紙漉き教室を開き、紙漉きを体験してもらいました。

また、畑作業を離れ、防災・環境問題の学習会で知識を身に付けてもらったり、朗読や演奏・合唱をするクリスマス会や音楽体操・朗読劇をする新年の集いなどのイベントを開催したりして、参加者同士が楽しい時



▲ 畑作業中

間を過ごす場の提供をしました。

補助事業の成果と今後の活動に向けて

畑を集いの場に選んだことで、地域の人が参加しやすい環境となり、作業をするなかで障がい者も健常者もお互いに来ることで協力したり、知識を共有したりして、ヨコの人間関係、更にはタテの人間関係を築くことができ、自然なコミュニティ形成ができました。

今後は、地域コミュニティの継続に向けて、本プロジェクトより得られたことをブラッシュアップしながら若年層も参加しやすい集いを催し、災害時の隣近所の助け合いを強化することで地域の減災に繋げていきたいと考えています。




▲ 芋掘り後、参加者同士の談笑

ひとこと

青少年・社会活動推進課

コロナ禍でも足を運べる場所を作ることで、様々な世代が集まり、地域のつながりが広がったかと存じます。今後も、様々な世代による集いを開催されることで、地域の活性化や災害時の自助に繋がることを期待します。

団体名	西大寺北地区自主防災防犯会	【団体の設立経緯・目的】
所在地	奈良市西大寺新池町2-19	西大寺北地区の防災・防犯意識向上、住んでよかったと思える地域を目指し、平成19年に立ち上げた組織
活動の様子 (集合写真)		【団体の主な活動の内容】
		地域の防災力向上の取組や防犯活動、若年層への防災啓発や垣根を超えた関わり合いの構築

コロナ禍における人間関係の再構築イベント

補助金額 193,054円

補助事業の背景と目的

コロナ禍で多くのイベントが中止となる中でも、住民は夜間の健康ウォーキングや夕方のノルディックウォーキングを続けています。しかし、個人または数人のグループで行われており、地域のつながりを再構築するには至っていません。

そこで、この活動をイベントとして確立することにより、地域住民のつながりを深め、またウォーキングクラブやノルディックウォーキングクラブへとアプローチすることで継続的計画的な地域の事業へとつなげていくことが目的です。

補助事業の実施内容

「ノルディックウォーキングの歩こう会」を下記日程で開催し、宇陀松山重伝建地区を散策しました。

R3.10.17(日) 参加者数:36人

R3.10.31(日) 参加者数:30人

R3.11.28(日) 参加者数:39人

また、参加者の親睦を深めるため、R3.11.21(日)には、素人演芸会を開催し、入れ替わり制で計約100人の参加がありました。



▲ 今日も元気にノルディックウォーキング

補助事業の成果と今後の活動に向けて

小学生から高齢者までの幅広い世代の参加があり、楽しい雰囲気の中で歩いていました。講師やガイドの方も元気に活動され、回を重ねるたびに、新しいメンバーが加わり盛り上がりました。

老人でも、体力がない人でも、一人でも、ご近所だけでも、ノルディックウォーキングは出来るということが喜ばれました。今後は、地域住民が自主的に歩こう会を開催していくことを期待します。



▲ 歩き方やコース説明は大事!

ひとこと

青少年・社会活動推進課

幅広い年代が参加するノルディックウォーキングを通じて、地域住民のつながりが深まったかと存じます。今後も継続してイベントを行うことで、コロナ禍による健康不安がなくなり、人間関係がより活性化されることを期待します。

団体名

にっこり

所在地

宇陀市大字陀下本2175番地

活動の様子
(初開催の相撲甚句)

【団体の設立経緯・目的】

山村留学などのイベントの開催を中心に活動、まちおこしに繋がる活動を目的に設立しました。

【団体の主な活動の内容】

若者が共同生活することができるためのシェアハウスを開設し、起業を目指す新住民の勧誘や起業の支援等を行っています。